

水道料金改定 市民説明会 説明資料

予定 平均改定率 24% (基本料金 35%・超過料金 20%)
令和4年4月1日以降使用分から

① 岩見沢市水道事業の概要

事業の概要

- 岩見沢市の人口の99.96%へ給水 (給水人口77,548人)
- 配水能力28,966m³/日 (R3~) 平均配水量24,540m³/日
- 岩見沢市・美幌市・三笠市にて構成される桂沢水道企業団より全量受水
- 市内9か所の配水池より配水管を経て各家庭・事業所へ配水

経営の概要

- 岩見沢市が経営する地方公営企業
- 料金収入により経営することが基本
- 前回料金改定より、改定率を抑えるため一般会計から繰入

② これまでの収支状況 (H21~R2)

収入は

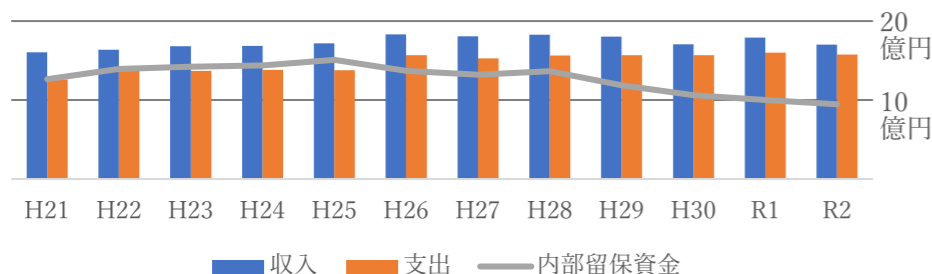
- 一般会計繰入金の確保により一定程度の収入は維持
- 人口減少によりH26以降は減少傾向

支出は

- 経常経費が主であるため、増減が少ない状況

収支は

- 収入が減少傾向となる中、支出は増減が少ない状況であるため、収支差引は減少傾向
- H21末からR2末にかけて内部留保資金は約3億円の減少 (H21:12億6,200万円 → R2:9億4,600万円)



③ 施設整備の実施状況 (H21~R2)

これまでの送・配水管整備計画

- 水道施設の耐震化や施設の合理化を目的に、H21~R2年度を計画期間とした長期計画 (2年延伸)
- 目標 管路整備143.5km 管路耐震化率16%
- 実施状況 達成率78.3% (112.4km)

目標を下回った主な要因

- ◇東日本大震災等大規模災害、オリンピック関係施設整備を背景とした労務単価と工事経費率の大幅上昇、消費税率の引上げによる工事単価増 (対H24比約140%)
- ◇遠隔監視システム統合・緊急遮断弁整備などの実施

④ 新桂沢浄水場の供用開始



新桂沢浄水場 (三笠市西桂沢) 令和3年3月16日供用開始

- 工期 H28.4.1~R4.2.28 建設費 89億6,400万円
- 旧浄水場は昭和33年供用開始 (62年間供用)
- 老朽化、耐震性能不足により更新が必要となっていたもの
- 道内最大級の膜ろ過浄水場 (高度浄水・維持管理が容易)

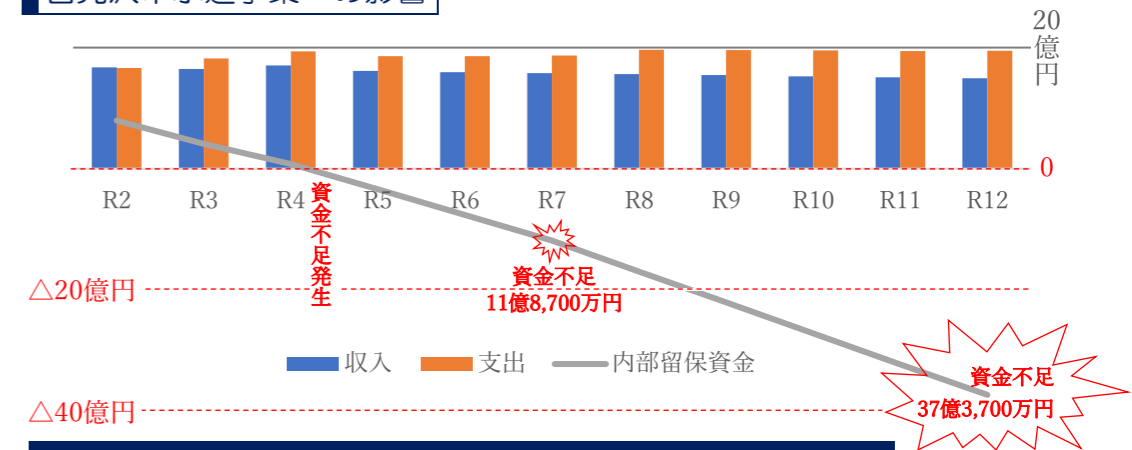
災害(特に地震)時の安定性
水質の安全性
が大幅に向上

⑤ 桂沢水道企業団の料金単価増による影響

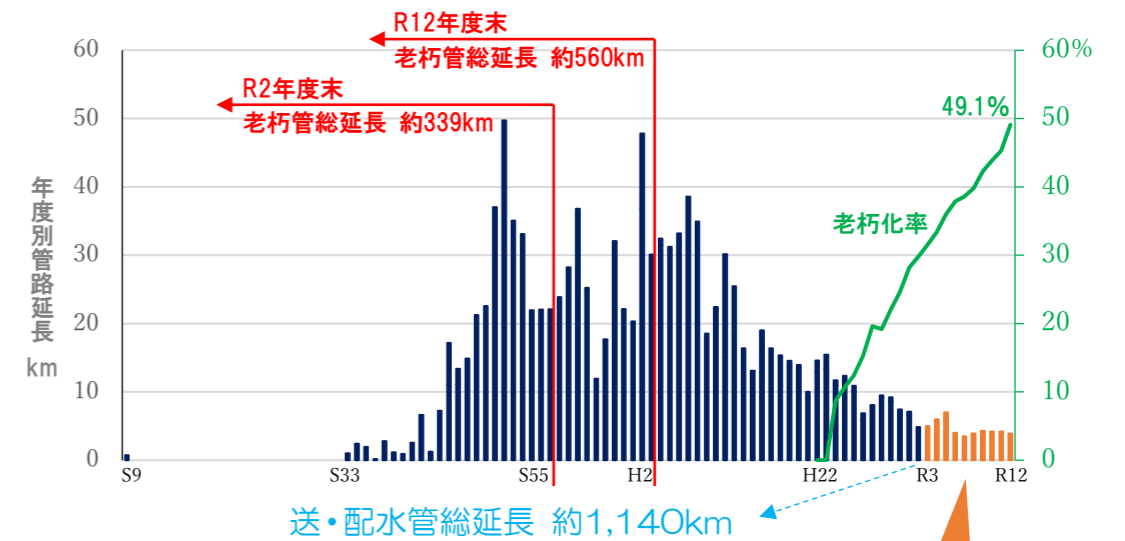
桂沢水道企業団における会計制度の見直し

区分	変更前	変更後
企業債の償還金	建設負担金	基本料金
使用水量分	送水負担金	使用料金
使用料金単価	22円/m ³	30円/m ³

岩見沢市水道事業への影響



⑥ 次期「送・配水管整備計画」(R3~R12)

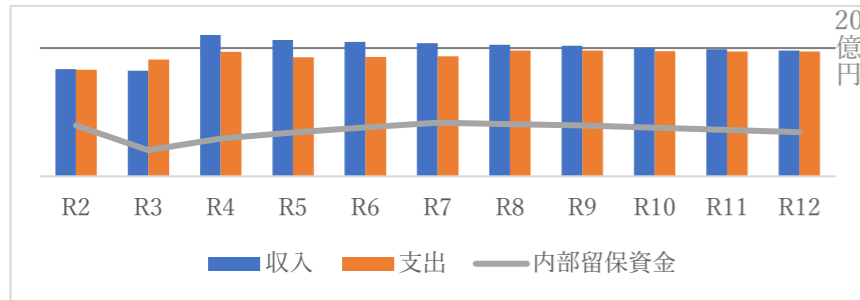


次期「送・配水管整備計画」	49路線	46km
送水管整備事業	5路線	7km
幹線配水管整備事業	17路線	12km
支線配水管整備事業	27路線	27km
R3~R12 事業費70億円 (7億円/年)		

⑦ 料金改定に伴う一般会計繰入

試算の考え方

- 収支差引額がR12で**プラス収支**
- 内部留保資金がR12で**6億円規模**を確保

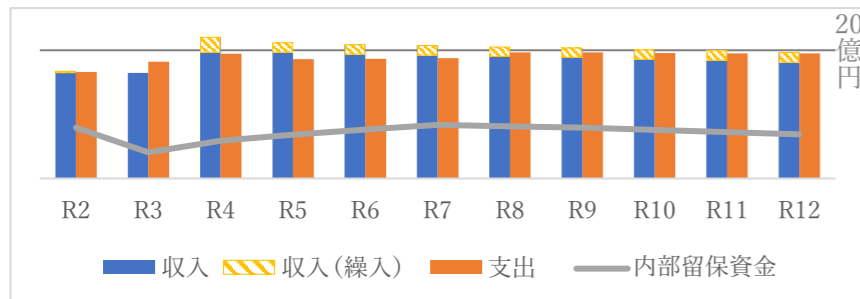


この場合、**39%の水道料金の引き上げが必要**

激変緩和のため、一般会計からの繰り入れを検討

試算の考え方

- 繰入金は年間**1億8,300万円**を想定
- 改定率は**25%**程度に留める
- 超過料金の改定率を抑える
- 収支差引額と内部留保資金は上記試算と同等に

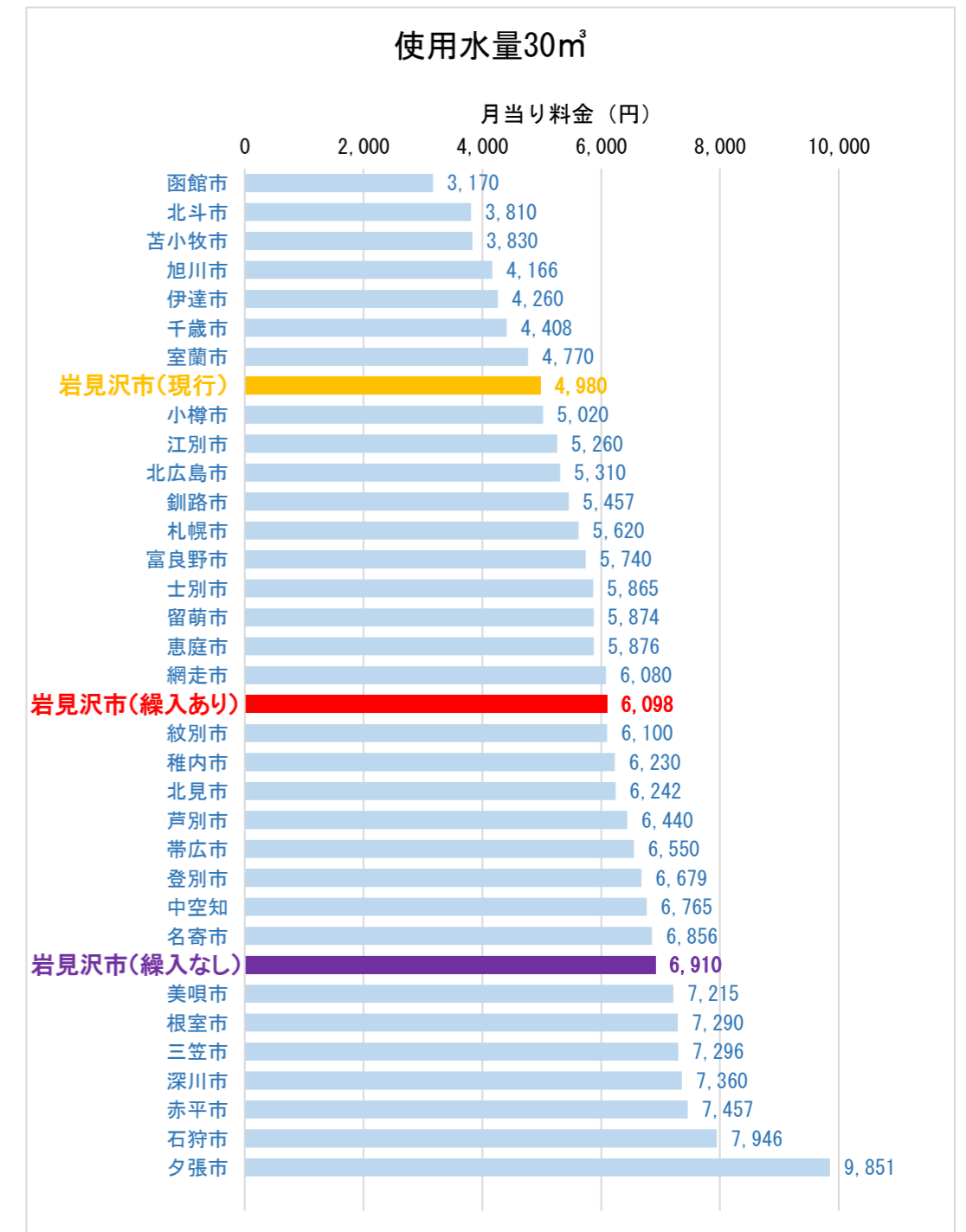
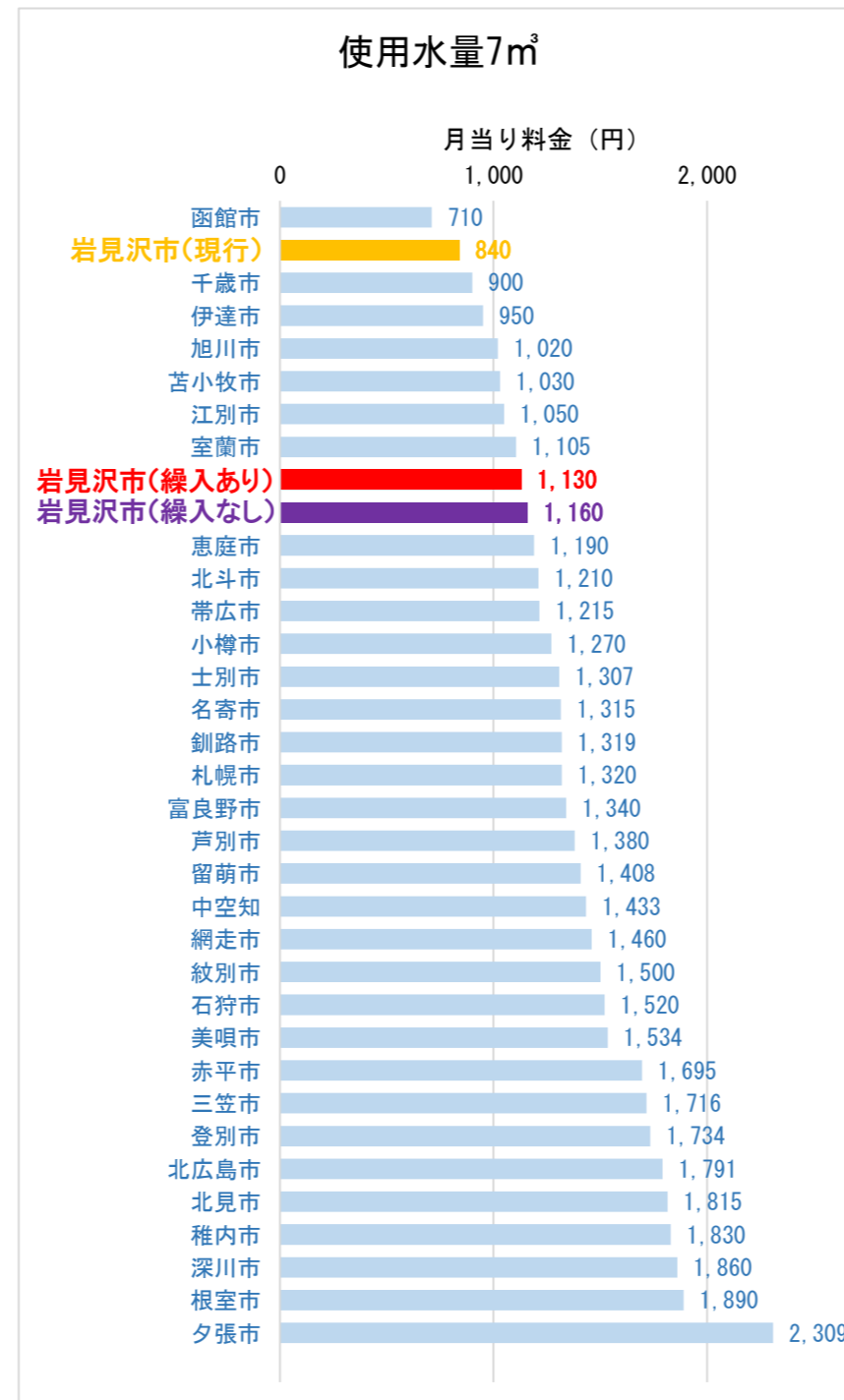


(税抜き)

家事用	現行	繰入なし	繰入あり
基本料金 月7mまで	840円	1,160円	1,130円
超過料金 1mにつき	180円	250円	216円

※全用途(家事・業務・浴場・臨時・会館)ともに
基本料金**35%** 超過料金**20%** 改定(試算)

⑧ 道内他市との水道料金(家事用)比較



⑨ 今後のスケジュール



※検針の際、使用した全量が令和4年4月1日以降となるものから新料金となる予定です

